



Decade +1 / smashmedia

Record from 1997 to 2007.

2007.12.9

Takeshi Kouno.

○ 河野武 / KOUNO Takeshi

- 1974年7月3日生まれ。立命館大学経済学部卒。
- 1997年、ニフティ入社。2001年にニフティ退職後、フリーランスとして数年過ごし、2004年から2005年までオンライン書店ビーケーワンの専務取締役兼COOを務める。ECサイト初となるトラックバック対応やリマインダサービス、bk1はてな、bk1カートバーをプロデュース。現在はシックス・アパート日本法人のマーケティング担当執行役員を務める。
- これまでに、まんがseekやmomoco.tv、All Consumingを企画運営。編著に「漫画家人名事典」、「データベース-やさしくわかる、応用力がつく！-」がある。

河野武の10年間、インターネットの10年間

○ 第1期(1997年～2000年)

● ニフティ時代

- ・ インターネットの幕開けとパソコン通信の終焉に立ち会う

○ 第2期(2000年～2003年)

● プータロー時代

- ・ ビットバレーに狂う人々を横目に引きこもる

○ 第3期(2003年～2005年)

● ビーケーワン時代

- ・ ヒルズ族にはなれなかったけど、メディアへ自分を露出できた

○ 第4期(2005年～現在)

● シックス・アパート時代

- ・ ブログによるパラダイムシフトを起こすために挑戦中

○ニフティ入社

- 入社式でいきなり入院、椎間板ヘルニア
- 配属部署が変更してコールセンターになる
 - ・毎日電話を取り続けて幻聴が聞こえる
- 社内のコミュニケーションの悪さを改善したい
 - ・年次の壁、部署の壁、社員と派遣スタッフの壁...
 - ・飲みニケーションをひたすら実践した
 - ・「お給料を払ってくれるのはお客さん。そのお客さんから日々怒られたりして最前線に立っているスタッフに感謝するのは当たり前」

○ニフティ2年目

- 部内の情報共有インフラを作るために、Linux, apache, sendmail, fml について学ぶ
 - ・ るんるんリナックス、Slackware...
 - ・ 3時間睡眠を3ヶ月続けた
 - ・ 残業代がタクシー代で消える
- 部内改革の失敗と成功
 - ・ 人は正論では動かない

○「てんぐのたわごと」開設

- ジオシティーズで開設したテキストサイト

lost

- ジオシティーズで開設
- 日記、掲示板、チャット、企画モノがあった
 - 週刊アエラの中吊りのダジャレを予想するとか
 - もうあんまりおぼえていない



1999年

○ニフティ3年目

●マーケティング部に異動

- ・ここからマーケターとしての人生が始まった
- ・合コンで名刺を出すのがうれしくなった

●マーケティング部が消滅、営業部に

- ・会社への不安と不満

○「プチクリ」開設

●共有サーバをレンタルして開設したサイト



lost

- 共有サーバ(姫路の会社)で借りる
 - 自分でHTMLを書いた(static HTML)
 - 「ほぼ日」への対抗意識
 - ・あれは有名人じゃないとできないのか？
 - 代表コンテンツ
 - ・「週刊一茂」
 - ・「メガ日記」
 - ・いろいろな人の日記を同じ場所に100日間書く
 - ・PostPetの八谷さんにメールを出して許諾をもらう



堀井さんの言葉

ゲームだろうが紙だろ
うがメディアである以
上、向こうには人がい
る。





糸井さんの言葉

高いギター買ったから
とっていい曲作れる
わけないから。



○ニフティ退職

●いちおう、寿退社

- ・スピード結婚

●週休4日制

- ・最低20万円稼ぐために、いろんなバイトをした
 - ・LASER Linuxのサポート、調査会社のアンケートCGI作成

○「まんがseek」開設

●専用サーバをレンタルして開設したサイト

●DB、PHPについてゼロから勉強した

- ・マンモス本、シーラカンス本



まんがseek



since 2000.1.10 – 再開準備中



○(たぶん)世界最大のマンガDB

- Linux + Apache + PostgreSQL + PHP
- 利用者がどんどん更新する
 - 今でいうところの、Wiki
- 多くのメディアで紹介されたり、賞をいただいたり
 - 「Yahoo!今日のオススメ」「読売新聞夕刊」「ぴあ」「日経ソフトウェア」...
 - 上毛新聞社ホームページコンテスト(iモードの部金賞)
 - アステル「ドットi」ホームページ大賞(編集部賞)



当時の日記より

サイトを作るのは誰でもできるんだけど、それをずっと運営するのはとても大変で、それこそ仕事が忙しいとか恋人とケンカしたとかどっか旅行に行くとか、そういう実生活でのさまざまなイベントの影響をできるだけ受けずに長期間続けるのはよそのサイトを見ていてもすごいことだなと思う。

経済的な負担も大変だけど、毎日何かを続けるってのは生来の怠け者のぼくにはかなり難しい。

だからこそ「勝手に増えていく」コンテンツってのが自分も楽しめて、しかも楽できるのでグッド。掲示板とかデータベースがそれに当たる。



考えるのは誰でもできる。

だから作ったやつが偉いんだ。

そして、続けたやつはもっと偉い。

● ● ● | 2001年

○ 人生いろいろ

- スピード離婚

- 引き続き、いろんなバイトをやる

 - ・ ケータイコンテンツの開発(位置情報ベンチャー)

○ 「momoco.tv」開設

- 専用サーバをレンタルして開設したサイト

- メディア、ツールとしてのケータイに興味を沸く



momoco.tv



since 2001.10.18 – 中断後再開



○マルチキャリア対応掲示板

- Linux + Apache + MySQL + Perl
- 初めてプロデュースだけした
 - 開発は安田さん
 - 簡単ログイン、ラッチメール、無視リスト
- 「ミックス・カルチャー」
 - コミュニケーションの実験
 - 絵文字はあえて変換しない (i)(j)
 - 荒らしと仲良くなる



2001.10.18

momoco.tvのコンセプトは「ミックス・カルチャー」です。パソコンユーザとケータイユーザは絵文字などの影響もあり、コミュニケーションのあり方が大きく異なります。あるいはケータイユーザだけを取ってみても契約キャリアによって微妙なカラーが存在します。それは時に文化の相違であったりします。

momoco.tvでは、さまざまな環境からアクセスされるユーザーのみなさんが、自分の文化を自信を持って語れる「場」を提供したいと考えます。そして人の交流、文化の交流を図ることで、世代間や地域間など本来インターネットが埋めてくれるはずだったいくつかのギャップを一気に解消してしまおうと企んでいます。またそれを実現するためにパソコンとケータイのすべてに対応した掲示板CGIを独自に開発しました。さらにこのCGIを無償配布することにより、勝手サイトのマルチキャリア対応をバックアップしたいと考えます。



当時の日記より

momocoは掲示板ですが、この掲示板CGIを使ってひとつおもしろいことをやってみようかと企んでいます。

それはいろいろなサイト、いろいろな人に掲示板を運営してもらって、それらの掲示板にリンクを張っていくという遊びです。インターネット上にはたくさんのマニアックなサイトがあります。たくさんの楽しい管理人がいます。才能あふれる運営者がいます。そういった人とサイトの繋がりを作っていきたいというのがmomocoの2番目のコンセプトです。

momocoの今後についてやすださんと意見交換。

「個人的にはファシズムぎりぎりのところに安定した状態ってのがある」となんとなく書いたら琴線に触れたらしい。なるほど、自分で読み返してもちょっとイカした言葉なのでメモしておこう。



当時の言葉

評価は自分がするもんじゃない。
周りがするもんだ。



秋元さんの言葉

飲むのが仕事じゃない
から。企画書作って、
それが実現して初めて
仕事。



● ● ● | 2002年

○ 転機はいきなり訪れる

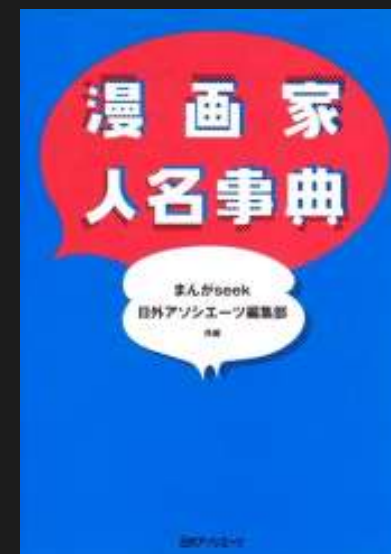
- 「甲斐性なし」
- まさに一念発起して、月収100万を目指す
 - ・ すぐ達成してしまう。でも時間売り。
 - ・ 朝まで開発、シャワーだけ浴びに帰って、昼はコンサル

● この頃やった仕事

- ・ 某自動車メーカーのカーナビコンテンツ
- ・ ビーケーワンのマーケティングコンサル

○ 個人プロジェクトのマネタイズ

- まんがseekのDBを事典として出版



● ● ● | 当時の日記より

さて。ちょっと真面目な話を書きます。

今日、ふと自分に欠けていたものがわかった。ものすごくすっきりと降りてきた感じ。

それは**覚悟**だ。ぼくには今まで**覚悟**がなかった。もしくは足りなかった。

会社を辞めて、フリーで適当に仕事をこなして、周りの人に助けられながらなんとなく食いつないでこれていたのでどこかで「なんとかなるだろう」という、根拠のない安心感が強くあった。

もちろんそういう感情は大事だし、土壇場での強さは開き直りの早さにあるとぼくは思っているので自分の楽天的な部分は守っていくべきだと思う。

でも、それと**覚悟**は違うと今日思った。他の世界ではハングリー精神というのかもしれない、とにかく「何とかする」という意気込みがなかったと思う。もっと言えば自分のことしか考えていなかった。最悪、実家に逃げ帰ればいよいよって逃げ道をいつも用意していたと思う。

それは明確な数値目標がなかったこともそうだし、誰かと暮らすことにおいても将来を現実的に捉えられていなかったこともそうだ。

今さらながらようやく気づいた。いい加減な自分のせいで今までいろんなものを失ってきた。大事な人も失った。

今、気分は悪くない。しっかりしよう。現実を見据えてリスクを減らそう、その上で自分の夢とか目標に近づくプランを立てよう。

後悔は先に立たないし、覆水は盆に帰らないけど、これから取り戻そう。そう思った。



破壊することだけが
先鋭的とは思わない。



<http://www.bjork.com/>



2003年

○再びサラリーマン

●ビーケーワンに入社(当時はブックワン)

- ・ゴリアテであるAmazonにどう立ち向かうか
 - ・あえて戦わない(土俵に上がらない)のは可能か？
- ・トレンドをいち早く取り入れる
 - ・SEO、SEM、RSS、ブログ...

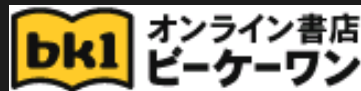
○個人ブログも始めた

●smashmedia

- ・Movable Type 2.6
- ・名前を明かして書いた
 - ・ブランディング！ブランディング！ブランディング！



リマインダサービス



since 2003.7.23



○ 買い忘れ防止メールサービス

- **日本初**の発売日お知らせメール
- ECショップ側と顧客側の双方のメリットを実現
 - 顧客側：買い忘れを防げる
 - 予約じゃないから、町の本屋で買ってもいい自由度
 - EC側：初回発注数の精度が上がる
 - 受注予測のデータとしては相当精度が高かった
- ビーケーワンで手がけた中でも**最高**のサービス

リマインダサービス



○ランキング情報のRSS配信

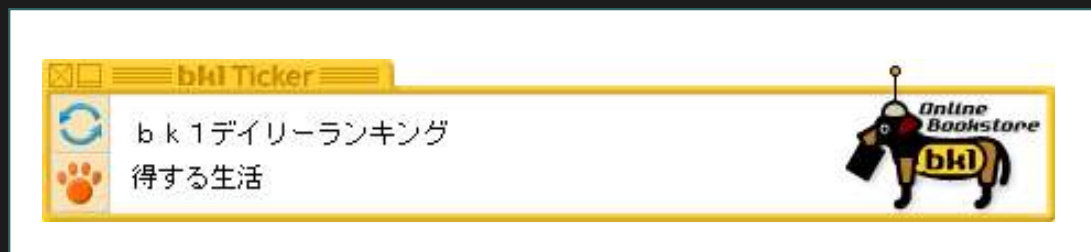
- Linux + Apache + MySQL + Perl
- ECサイトのランキング配信としては**日本初**
- **デイリーランキングなど計22種類を公開**
 - RSS 1.0/0.91/0.9 (UTF-8)
 - **アフィリエイトにも対応**

● ● ● | bk1 RSSティッカー

 オンライン書店
ピーケーワン since 2003.12.9 – 終了

○ **日本初**の企業オリジナルRSSリーダー配布

- **ワークアット社にOEM提供を受ける**
 - Powered by Rabbit Ticker
- **最初の1週間で1000件以上がダウンロード**





**大事なものは機能提案ではなく、
用途提案。**

機能に飛びつく人はごく少数。

○初めての経営経験

●結局、ビーケーワンでは名刺が4回変わった

- 「Web運営アシスタント」(アルバイト)
- 「テクニカルマーケター」(アルバイト)
- 「マーケティングマネージャー」
- 「専務取締役兼COO」

●新サービスを自分で開発して提供

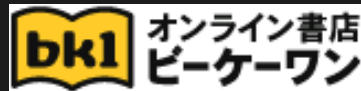
- トラックバック対応、bk1はてな、スタッフブログ...
- 明治記念館で講演もした

●2chで叩かれた...





bk1.jp



since 2004.3.16 – 統合



○ECサイト初のトラックバック対応

- Linux + Apache + MySQL + Perl
- 商品ページへトラックバック
 - ・ アフィリエイトユーザーには専用のリンク用URLも提供
- 新しいショッピングカート
 - ・ ページ内に常に表示されている
 - ・ 書籍をまとめ買いできる
- カゴメール
 - ・ カートの商品リストをメールで送信する機能

● ● ● | お客様のブログより

正直なところ、bk1.co.jpもそうしたネットバブルの残骸の一片だと、筆者は考えていた。(bk1のみなさん気を悪くされるでしょうがごめんなさい。でもそれが個人的な正直な感想です)

しかし、bk1にも若いセンスをはぐくむ土壌が、かろうじてあったようだ。

bk1、トラックバック対応サイト「bk1.jp」をオープン (Internet Watch 2004.3)

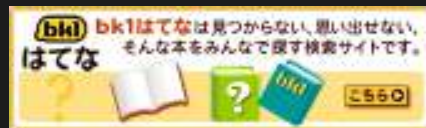
bk1.jpを作った**張本人**が自身のblogで語っている。

当時はバイトだったこともあって、社内のバックアップはあまり得られませんでした。が、やってることに自信というか、まちがったことはしていないという自負みたいなものがあったのでどんどん進めました。今思えばよくストップされなかったと思います。(bk1.jpってなんなんだ? より)

bk1.co.jpでは、どうやら、現状に疑問をもった一人の**元バイト君**が中心となって独自のアイデアとノウハウと技術でサイトを進化させることができたらしい。



bk1はてな



since 2004.7.7 – 終了



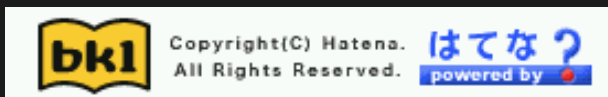
○はてなと作った、本の人力検索

- **日本初**のECサイトでの人力検索サービス
- 企画書を書いて持参した
 - APIを公開して書誌データを提供
 - RSS経由でECサイト側の検索結果との連動
- 企画からスタートまで1ヶ月



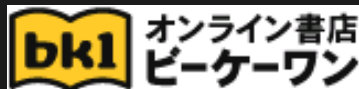
当時のブログより

というわけで、bk1はてなオープンです。
ぼくが最初に彼らにメールを送ったのが5/27で、渋谷に会いにいったのが6/11でしたから、1ヶ月でオープンできました。
はてな速すぎです。
こういうスピードでうちもビジネスしたいです。
「bk1はてな」では本当に「人力」検索に挑戦したいと思っています。うちのスタッフも一生懸命答えます。
そして、そこで蓄積されたナレッジをbk1の検索結果にも応用しようと思っています。
ポイントの交換とか、今後もいろいろと広がりを考えていますので、まずはご利用してみてください。もちろんぼくも答えます。





bk1スタッフレビュー



since 2004.7.22



◎日本初のスタッフブログ

- Movable Type 3 日本語版の最初のユーザー
 - ・ コメントもトラックバックも利用
- スタッフによる書籍紹介ブログ
 - ・ そのまま購入もできるようにプラグインで連携
 - ・ プラグインは自分で作った(mt-bk1.pl)
 - ・ スタッフの隠れた才能も発見！
 - ・ 「ユン子です。」

● ● ● | シックス・アパートに取材されていた!



○ 不思議な縁

● シックス・アパートの事例取材に答えていた

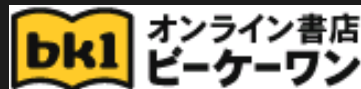
- 「ウェブログは、“顔の見える本屋”というコンセプトを実現するのに最適なツールでした」

河野氏は、最後にこう語った。「いつになるかは分かりませんが、ビーケーワンのサイトに対して書評を投稿するという形態ではなく、基本的には全員が個人のウェブログをもち、ビーケーワンにトラックバックをしてもらい、彼らにインセンティブが支払われるという関係にしたいですね。スタッフ全員にもウェブログを持たせて、書籍をキーワードにつながっていく。サイト上では、スタッフとユーザーが書いている書評が同様に並び、この書評は書籍を1000冊読んでいる人によって書かれているなど、読者にとって参考情報をつけることができれば面白いと思います」

<http://www.sixapart.jp/business/00989.html>



簡単リンクくん



since 2004.7.23



○ブログで商品紹介するためのHTML作成ツール

- ECサイト自らが提供するのは **日本初**
- 利用者の声に即反応
 - お客様のブログでリクエストされた
 - その日の夜に作って公開
 - 先行サービスのいいところを真似る
 - G-Toolとかishinaoさんとか
 - でもオリジナルな機能も入れる
 - 編集画面でタグをワンクリックで挿入できる



お客様のブログより

せっついてみるものです(違)。

私が

*G-Tool*みたいな照会文簡単作成ツールがあると、*Movable Type*以外でも簡単にリンクできそうなんだけどなあ。

ってなことを書いたら、**河野さん**がさっそくbk1リーダーリンク作成を作ってくださいました。リーダーIDとISBNかbibid(bk1内管理コード)を入れると、3種類のHTMLソースがでできます。好みのソースをコピーして、記事を作成すれば完成。bk1リーダーでなくても使えます。

ためしに、今日買った本でやってみました。
簡単簡単。



お客様のブログより

しかーし、bk1の**河野さん**がまたしても便利なツールを作成してくださいました(23日公開だから出遅れ感も否めないが)。

簡単リンク君(smashmedia)

このネーミングセンスが好きです。

つくりはG-Toolと似てます(というかG-Toolみたいなのがbk1でもあったらなのリクエストに応えたものだから似るのか)。とても便利なのでbk1ブリーダーの方はどしどし使おう。そしてどんどん積もうぜ、兄弟。

それにしてもリクエストってするものですね。それにすぐに応えてしまう**河野専務も素敵**です。

● ● ● | ビーケーワンで学んだこと

○ オーナー企業は一長一短

- チャンスはいっぱい、リスクもいっぱい

○ 「経営は人なり」

○ 客商売はすばらしい

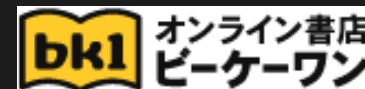
- お客さんと直接対話できるのは最高に楽しい

○ 本当の意味でのスピード

- 開発よりも判断のスピードのほうが重要

○ 健康第一

Thank you from my heart.





ジョニー・ロットン(The Sex Pistols)の言葉

社会に怒りを感じている
なら正しい表現をしろ。
社会に怒りを感じていな
いなら怒ったフリをするな。



<http://www.johnlydon.com>



2005年

○転職

●8社からオファーをもらう(野茂と同じ!!)

- 半分が初めてコンタクトした会社
 - 「ずっとブログを読んできました」
 - ブログってすごい!



●シックス・アパートに入社



- マーケティング担当執行役員(VP, Marketing)
 - 条件は、英語しゃべらない、開発やらない

●ウノウ株式会社のアドバイザーにも就任

Unoh

○個人活動も細々と続ける

- 休職中に、All Consumingを2週間で開発

● ● ● | All Consuming



since 2005.5.25



○ ブログで話題の商品ランキング

- Linux + Apache + MySQL + Perl
- ブログを巡回してAmazonへのリンクを抽出して集計するだけの単純な仕組み
 - 元ネタはUSにあった(Amazon社員が作ったサイト)
- ブLOGGERの時事ネタへの反応速度の検証
 - 新刊発売や映画公開、事件に対してすごく反応する
- 完全自動で毎月数万円の収入
 - サーバ代を引いても少しは残る



当時のブログより

このサイトのオリジナルはallconsuming.netというサイトです。ぼくがこのallconsuming.netを知ったのはどこかのブログだったと思います。

2003年の末くらいでした。ちょうどニフティがココログをサービスインした頃で、ぼく自身はピーケーワンでRSSフィードをリリースしていました。

ぼくはブログの可能性は当初から感じていましたが、ブログが一般化して多くの人が自分のブログを持つようになれば検索や編集が重要になると思っていました。

それはジオシティーズのようなサービスにより、無料でホームページが持てるようになって以降、ロボット検索エンジンの時代になったことと同じような流れがあるだろうと予想していました。

実際、BulkfeedsやFeedBackなど、RSSをベースにした検索エンジンはかなり早い時期に優秀な方々によって作られました。今では大手の検索エンジンもRSSに対応しています。

またMyblog JAPANのようなディレクトリサービスもかなり初期にできました。みんな考えることは同じだなと感じたことを覚えています。

しかしそれらはぼくにとってのベストではなかったのです。もっとニッチで、もっと編集されたコンテンツがぼくはほしかったし、もしブログが個人メディアになり得るのであれば、それを俯瞰して見るようなサービスがほしいと思いました。

そう思っていた頃にallconsuming.netを知ったのです。allconsuming.netはアメリカでAmazonの社員が作ったと聞きました。当時ピーケーワンに勤めていたぼくは「自分が作らなければならない」と勝手に使命感を持ってしまって、それ以降は取材やセミナーのたびに「日本版allconsuming.netを作る」と言っていました。

● ● ● | All Consumingでやった日本初のチャレンジ

○ **全部日本初**

- hReview生成ツールを公開
- ページ遷移しても選択アイテムを維持する検索結果
- クロスレビュー
 - 複数商品でブロガーの評価を比較
 - 競合商品比較や、グレード別の比較はかなり有益
 - シェーバーとか、Dysonとか
- まとめ買いアフィリエイトリンク作成ツール
 - Amazonのソースを解析して作った



藤田さんの言葉

最高もしくは最速
しかない。



○ 個人プロジェクトの復活

● 「作りたい」欲求の再燃

- 開発しないならしないでウズウズする
- ワンアイデアのサービス、amazoniaを作る
- まんがseek、momoco.tvの復活

● WOM勉強会を主催

○ アウトプットを意識する

● 原稿を書いたり、講演したり

- 宣伝会議、WebSiteExpert、MarkeZine、etc...



amazonia

amazon ia.jp

since 2006.2.14 – 2006.2.24



○Amazonアソシエイト互助会

- ロリポップで開設(MySQL + Perl)
- 本人購入が認められないので、ランダムで選ばれた誰かのIDで購入しあう仕組み
 - 単純にランダムではなく、**利用回数に比例して**出現しやすくするような重み付けを行ったのがポイント
- 3時間で作ったけど、速攻で怒られて閉鎖
- Buzzの効果を実感
 - 数日で、はてなブックマークに200件



トラフィックの推移

レポート: amazonia.jp

ダッシュボード

▼ 表示 **経営層**

- 経営層向けの概要
- コンバージョンの概要
- マーケティングの概要
- コンテンツの概要
- サイト上のデータ表示

すべてのレポート

- ▶ マーケティングの最適化
- ▶ コンテンツの最適化

期間 ?

表示 **デフォルト**

◀ 2006 ▶

1月	2月	3月	4月	5月	6月		
7月	8月	9月	10月	11月	12月		
	日	月	火	水	木	金	土
→	29	30	31	1	2	3	4
→	5	6	7	8	9	10	11
→	12	13	14	15	16	17	18
→	19	20	21	22	23	24	25
→	26	27	28	1	2	3	4

前へ << カスタム >> 次へ

経営層向けの概要

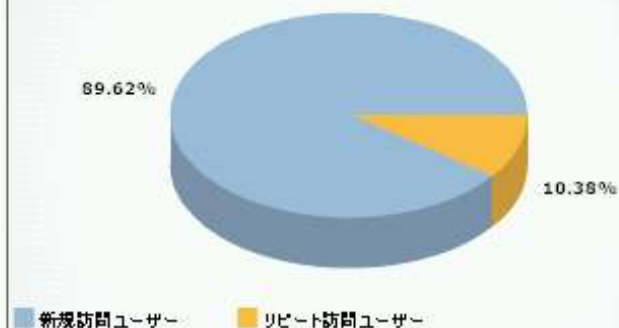
エクスポート

amazonia.jp | 2006/02/12 - 2006/02/28

訪問数とページビュー数



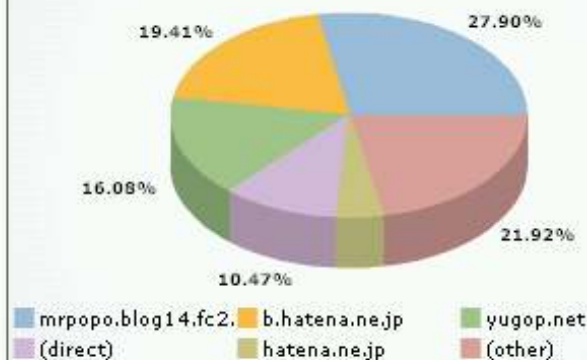
新規ユーザーとリピーターユーザーの訪問数



地図上のデータ表示



ソース別の訪問数





womma.jp / WOM勉強会



since 2006.11.24– 2007.9.25



○WOMに関する勉強会を主催

- クチコミマーケティング、コミュニケーションをテーマに10minプレゼンやディスカッションを実施
 - ・プレゼンは  で公開する
- 分科会も開催
 - ・グループワーク
- 結論が見えたので終了



才能は使うためじゃなく、
使われるためにある

● ● ● | 2007年

○ブックオフオンライン、オープン 

●社外取締役就任

・オトナ買い機能などを考案

○またフリーに

●シックス・アパートを8月末で退職

○プライベートプロジェクトも

●コロコロプロダクションズ設立

・コロタン(コロコロタウン)で27時間テレビ生放送

●ぽぷるプロジェクト開始

・みんなで作るブログのホワイトリスト



コロコロタウン



since 2006.11.24 – 2007.9.1



○ ネットを使った生放送番組

● チャットを使って視聴者とコミュニケーション

- テーマトーク
- クイズ大会
- 27時間テレビを見てるぼくを生放送

● 1ヶ月間ひとりでも番組をやった

- 7.9~8.10まで、平日24:00-25:00枠で

○ ライブ・コミュニケーションの価値を実感

● UstreamやLingrを利用



since 2007.11.19



○ブログのホワイトリストを作成

- SPAMだらけの現状をなんとかしたい
- 有志を募って構築中

○将来の応用

- (トラックバックなどの) SPAMフィルタ
- ノイズのないブログ検索エンジン
- All Consumingのような記事解析サービス



当時の言葉

ぼくはブログの一番いいところはみんなが生活者の本音を書いている点だと常に主張しているんだけど、それをきちんと糧にして企業が自社の製品やサービスに反映することができないと意味がない。

一方通行じゃなくて、きちんとリアクションをする、コミュニケーションとはいつも双方向であり、マーケティングもまたコミュニケーションなのです。だからこそなんとかしたい。



鴻上さんの言葉

才能とは、
夢を信じ続ける
力です。



● ● ● | これからやりたいこと

○ インターネットを使って世の中をおもしろくしたい

● 企業と消費者を近づけたい

- 企業チャンネル
- lovemarks.jp

● 日本中に友だちを作りたい

- コロプロ企画

○ 自分の才能を使ってもらいたい

● 講演、出版...

● 企業支援

- 新規事業の立ち上げ、事業の建て直し



ぼくが学んだこと

- 自分で動かなければ始まらない
- 覚悟が大事
- 有名になったもん勝ち
- 英語なんて喋れなくても大丈夫
- 日記(というかブログ)はつけといたほうがいい
- インターネットはおもしろい
- 彼女に感謝



最後に

ぼくが一番心を打たれた言葉



あなたはこの一年で、
何をしましたか？



What have you done?

● ● ● | thank you!

- ご清聴ありがとうございました。
- 興味のある方はぜひご連絡ください。
 - takeshi@smashmedia.jp
 - <http://smashmedia.jp/>
 - 検索してもOKです。

河野武 検索

